





成功から六十数年後、人類は月に第一歩を記した。無人の探査機は火星へ、木星へ、土星へと、未知なる惑星の秘密が、今、まさに解き明かされようとしている。

この大きな進化をもたらしたのはライト兄弟の功績、動力による飛行のおかげだ。大空への夢を現実のものにしようとした情熱と努力、創意工夫、わたしたちが彼らから学ばなければならぬものだ。

わたしはできないことがあると「無理だ」と逃げてしまっていた。しかし、それは間違いとライト兄弟の伝記は気づかせてくれた。努力もせず、どうしたらできるようになるかを考えもしなかった。「できないものはできない」「以前のわたしの考えだった。」

だが、ライト兄弟は人類が何千年、何万年もの間、かなえることのできなかつた大空への夢に挑戦し続けた。可能か不可能か分からない未知の夢に挑み続けてきた。「実現可能だろうか」「だれかに先を越されてはしまわ

ないだろうかと、彼らも不安に思っただろう。だが、夢を追い求め、実現すると信じ、飛行機の製作に取り組んできたのだ。それを思えば、わたしのできないはできない。いのちには入らない。自分で「ここまでしかできない」と、勝手に決めつけていただけだ。それは限界でも何でもない。自分自身に對しての言い訳、単なる甘えにすぎない。新しいことにチャレンジするときには不安になる。怖い気持ちになる。しかし、ここで歩みを止めては進化はない。不安でも、怖くても「必ずできるんだ」と、ライト兄弟のように自分を信じて、実行することが大切なのだ。わたしたちには、これから未知なる世界が待ち受けている。それを乗り越えなければ成長は終わる。不安になって立ち止まりそうになつたときには、ライト兄弟のチャレンジ精神を思い出したい。彼らの夢を現実にする情熱を思い出せば、目の前にある不可能を乗り越える勇気を手に入れることができるだろう。